

第20回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2018年7月7日(土) 10:00~11:45
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、友田副委員長(司会進行)、大永委員、木寺委員 大田委員、春木委員
市より	:藪田課長、尾川係長、林課員
傍聴者	:9名

○**利用者の会** 皆様おはようございます。定刻になりましたので、第20回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思います。

本日の司会進行は、利用者の会の私、友田でございますので、よろしく申し上げます。

会議を始める前に、資料が1から6までございますので、御確認のほどをお願いします。ない方は、こちらの、右手のほうにございますので、よろしく申し上げます。

それと、今日の参加者でございますけれども、芦屋市の森田部長が、この、昨今の気象状況、大雨ということで、芦屋市の災害対策本部が立ち上げられていますけれども、そちらのほうにもう数日間泊まり込むということで、今日は欠席させていただきたいという御連絡が入っております。

それと、私ども利用者の会としまして、今までこの会のメンバーだった三宅様が今日御欠席ですけれども、一応いろいろございまして、このメンバーから外させていただきたいということでございますので、御理解をお願いいたします。理由は、たくさんやることがあるということで、申しわけないのですけれども、1年間、三宅様、本当に御苦勞様でした。

そういうことで、さっそくですけれども議事を進行させていただきたいと思います。まず、議題の1、パイプライン運転報告について。資料の1、2に関しまして、林様のほうから御説明のほうよろしく申し上げます。

○**市** おはようございます。芦屋市の林です。

議題1といたしまして、パイプライン運転報告について御報告させていただきます。資料1に関しましては、毎回のパイプライン運転報告になります。こちら、資料です

けど、表面のほうシステム異常発報。こちらに関しましては、システム異常がセンターのほうで発報されたものについて抽出して示しております。

裏面のほうをごらんください。裏面のほうに関しましては、上部のほうに利用者からの連絡対応といたしまして、利用者の方々がこちらの環境施設課に電話されたときの対応を示しております。また、その下に関しましては、運転の委託業者さんが巡回や定期点検のときに発見された不具合点等、また簡単な、軽微な補修等も記載させていただいております。

それで、表面のほうにお戻りください。まず、システム異常発報について御説明させていただきます。これに関しましては、システムのほうで発報されたものを示しておりますが、ちょっと量が多いので、部分的に報告させていただきます。

今回、前半部分が多かったのが、ナンバー5。一番左のほうにナンバーを示しておりますので、そちらをあわせて説明させていただきます。

一番左手のナンバー5、ナンバー8、ナンバー9、これ同じ異常なんですけども、ローカルで、高浜町。#400と書いているのは遮断弁の番号になるんですけども、それぞれ閉異常が出ております。この原因といたしましては、穴あきが発生しております、これは後ほど説明をさせてもらおうと思ってたんですけども、これ、連携していただいて、裏面の下のほうの巡回及び定期点検で発見された不具合点等の一番左手のナンバー2というところにあります、5月23日水曜日、ローカル、高浜町。これ番号違うのです。これは遮断弁じゃなくて点検口の番号を示しております。これ、1-B-1下流、1-A-1下流。輸送管、穴あき。耐摩耗鋼及び水中ボンドで補修と書いているんですけども、ここに穴あきが発生しております、そこで水とか入っております、遮断弁に異常が発生しております。場所はこちら全て高浜町で、点検口番号が1-B-1下流、こちら点検口が1-A-1下流。

その下に、先ほど説明させてもらった遮断弁がございます。こちらのほうに穴があいております、ここの遮断弁に水とかが入って、遮断弁の異常が発生しております。場所としては、これですね。これが穴になります。ちょうど曲管の外側の部分になります。拡大した写真がこちら、穴、さっきの写真になります。側面、土のほうが見えておまして、大体、長さとしては40センチぐらいの穴になります。

これが見つかりまして、5月23日、24日で、耐摩耗鋼で補修しております。こちらのほうですね、3枚補修しております。これ以降、異常等は出ておりませんので、原因

としてはこれが考えられると思っております。

続いて、1-A-1下流に関しましては、これ昔、耐摩耗鋼で補修をやったところですき間のところから水が出ておりました、ここに関しては水中ボンドで補修をしております。これら、止水をしまして、それ以降は400の遮断弁の異常とかは出ておりません。

資料1の表面のほうにお戻りください。ナンバー26に関しまして、こちら遮断弁になるんですけども、6月18日月曜日、時間が16時52分、ローカル、潮見町、1200、遮断弁、開異常。これはちょうど宮川大橋を渡り切ったところの下、ちょうど潮見小学校の前ぐらいですかね。丁字路のこの遮断弁になるのですけども、こちらで開異常が発生し現場に行きまして、弁体の汚れ、スラッジ等が付着しておりましたので、除去等を行いました。こちらに関しましては、月曜日の夕方でしたので、引き続き翌日も対応したため時間も人数もかかりました。

件数に関しましては、平成28年、29年、30年と並べておまして、平成28年は多かったのですけども、件数は今年度と昨年度はほぼ同じような件数になっております。

こちらの資料1に関しましては、前回御指摘がありましたとおり、作業時間、労務費の合計を右下のほうに示しております。今回の2カ月分、5月1日から6月30日まででしたら、合計の作業時間に関しましては654分。労務費に関しましては、10万3,650円となっておりますが、これ、外部に出しておりませんので、実際かかったお金ではありませんので、そこは御了承ください。

続きまして、裏面をごらんください。まず、上部のほうの利用者からの連絡対応。こちらは先ほど説明させていただいたとおり、利用者から環境施設課に電話をかけていただいたものについて示しております。これも全てを説明するのは時間がかかるので、幾つかピックアップして説明させていただきます。

まず、一番左手ナンバーの4番に関しては、これほぼ毎月あるのですけど、誤投入がございました。これに関しましては、5月22日19時30分、ローカル、陽光町、投入口番号が30088、投入口、誤投入。実際に入れた方に聞いてみますと、投入しようとしたときに車の鍵を一緒に入れてしまったということでした。こちらのほうに関しましては、翌日、まだ運転をしていなかったなので、取り出して、投入された方に返却をいたしました。

また、ナンバー6、ナンバー8に関しましては、これ場所が違うのですけども、内容

としては一緒になります。それぞれ原因としては、鍵。投入された後、鍵を開の状態のままで放置されていたのが原因になります。投入される際は、鍵を12時の方向に入れて、それを3時の方向に回してバケットをあけるのですが、その後、通常でありましたらバケットを締めて、鍵を3時から12時の方向に戻すのですが、それを戻さずに、3時の方向のまま抜いてしましまして、次の方が投入できなかったということが起きております。

原因といたしましては、鍵の突起部。皆さんお持ちの鍵ですけれども、こちらのほうに突起がついておりまして、そこが摩耗してしましますと、3時の方向でも抜けてしまう場合がございます。使った後に関しましては、必ず3時から12時の方向に戻して離れるようにしてください。そうしないと、次の方がごみを捨てられないような状態になります。

続きまして、その下の部分。巡回及び定期点検で発見された不具合点等につきまして、説明させていただきます。先ほど、ナンバー2は説明させていただきましたので、ナンバー6。6月22日金曜日、ローカル、浜風町。これ3カ所、投入口下のピット内の輸送管の補修を行いましたので、前のほうに写真で、簡単ですけれども、説明させていただきます。これ写真の撮り方が悪いのですが、輸送管がこのように通っておりまして、この部分、穴があいていたので補修をしております。

続きまして、こちら、投入口3081、こちら上の部分が穴があいていたみたいで、前回補修した部分が悪くなったので、再度補修したような形になります。

以上で、資料1の運転報告については終わるのですが、引き続き、運転停止に関しまして御報告させていただきます。

前回の協議会后、何回かパイプラインが止まっております。これについて、範囲や、ある程度の原因等を説明させていただきます。お手元の資料2をごらんください。

資料2のパイプライン停止報告について。先週までで、大きく3回、パイプラインが止まっております。それについて、ある程度の閉塞箇所、停止範囲、作業費用を示しております。この前の資料で、停止報告①といたしまして、左手の地図、こちら、東浜公園の東の道路沿いに輸送管が埋設されております。調査をしますと、ここの赤い部分。ここの部分ですね、拡大いたしますと、こちら、下の写真になります。

1-K-1というのが点検口の番号になります。ここの点検口から数メートル下流に下がったところで、閉塞が発見されております。停止地域については、浜風町の一部。

使えなくなった投入口に関しましては6カ所。停止期間に関しまして、5月22日から5月30日の9日間。作業費用といたしましては約100万円かかっております。原因については、詳細な原因は不明ですが、何らかのごみが輸送管内で閉塞したことで運転が停止したと考えられます。その他に関しましては、今回、車収集は行っておりません。

原因追究のため、輸送管の中に入ったりしていたのですが、これ、一番左手の写真が、先ほどの点検口1-K-1から撮った写真になります。拡大いたしますと、これ見にくいのですが、ごみが、がばっと圧縮されたような状態になっております。実際、下の入管作業①、②に関しましては、私も入管しまして、原因を調べようとしたのですが、ちょっとわかりにくいのですが、ごみを取っても取っても全然先が見えなかったもので、原因はわかりませんでした。これに関しましては、洗浄作業車を入れまして、閉塞を解除いたしました。

続いて、停止報告②をごらんください。こちらに関しましては、同様に、場所は近いんですけども、東浜公園の南側の投入口近くになります。こちらが閉塞箇所、場所としましては、3031という投入口の下流側、この部分で閉塞が発生しておりました。停止地域に関しましては、浜風町一部。使えなくなった投入口が10カ所。停止期間につきましては、6月5日から6月18日の13日間。作業費用としましては大体130万円。これ、後ほど、停止報告③と併発しておりまして、大体の金額になります。この件に関しましては、臨時の車収集は行っておりません。原因については、先ほどと同様、詳細な原因は不明。何らかのごみが輸送管内に閉塞したことで運転停止したと考えられます。こちら、その他に関しまして、次の停止報告③と併発しましたので、停止報告③が発生したときから車収集を3日間動かしております。

こちらは、投入口3031のピット内輸送管の写真になります。私も入管して調査をしようとしたのですが、入管すらできないような状態になっておりましたので、こちらも同様に洗浄作業を行いまして、解消しております。

続いて、停止報告③をごらんください。こちら、場所としては近いのですが、浜風小学校の東側の緑道に埋設されている輸送管になります。こちら点検口1-G-1の上流部分になります。停止地域といたしましては新浜町。系統が違うので、町名は変わるのでありますが、新浜町の一部。使えなくなった投入口が12カ所。停止期間は6月14日から6月18日の5日間。作業費用に関しましては約50万円。こちらに関しまして、臨時の車収集の費用は除いております。また、原因につきましては、こちら、

入管して調べたのですが、原因は不明でした。輸送管内にごみが閉塞したことで運転が停止したと考えられます。こちらは、先ほど停止報告②と併発いたしましたので、こちらの発生した翌日から車収集は行っております。こちらも入管して作業したのですが、先ほど見た点検口1-G-1の上流。拡大いたしますと、こちらの上のほうでごみが閉塞しております。それと現場のほうから聞きますと、こちらはヘドロが多かったというのを聞いております。

今回、この作業中や、その他、輸送管から投入してはいけないごみが多々発見されました。それにつきましては、利用者の会の方々にメール等させてもらったり、投入口の横に置いたり、投入口に掲示したりしてお知らせしております。今回、掲示したものにしましては、部屋の後ろのほうの、あちらのほうに全て掲示しておりますので、どういったものがどの地域で起こったか全てを書いておりますので、また、お帰りの際にごらんください。

先週まででしたら、ここまでの報告だったのですが、今週また閉塞が何度かありまして、それについても引き続き報告をさせていただきます。

資料等が少ないのですが、7月3日、今週の火曜日に発見されたものが、こちら、新浜町のラ・ヴェールの敷地内にあるのですが、点検口1-G-2-1から上流に向かって見たときの写真。こちらのほうにごみが完全に圧縮されている状態になっております。こちらは現場にまだ行けてないような状況になります。

続きまして、7月5日。これですね、週末にかけて今、大雨が降っております。今日も雨が降っているのですが、7月5日木曜日の時点では、こちらの黄色の部分を運転した際に水が侵入しております、木曜日の時点では、ここの運転は停止しておりました。この写真はどこかという、この青い部分。ここで撮った写真です。ちょうどセンターから入れる専用溝の中の写真になります。ほとんど水とごみでヘドロ状になっております。きのうも専用溝を見ていたのですが、先ほど止めたところは運転してなかったのですが、それ以外の地域からの水も来ておまして、点検口の部分が水でいっぱいになっておりました。

昨日まで、何とか運転をしようとは思っていたのですが、昨日の昼頃、もう、これは全域無理やという判断をいたしまして、本日から臨時の車収集を芦屋浜全域にしましてさせていただきます。本日も引き続き排水作業を行いまして、一日も早い復旧を目指しておりますので、御迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

パイプラインの運転報告につきましては以上になります。

○利用者の会 どうも、林さんありがとうございました。ただいまのご説明に関しまして、ご質問あれば、どうぞ。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。利用者の会の春木です。よろしくお願ひします。

たくさんのご報告をいただひて、一度に理解することが難しいかなという気もせんでもないですけど。

まず、このトラブルですね、トラブル、これぱつと見せていただひて、ぱつと気づくのがセンターのほうですね。センターの押し込みスクリー。これはドラムフィーラーの手前にあるのですかね。ドラムフィーラーと言うのか、ドラム処理槽。その手前にあつて押し込むやつですね、スクリーフィーラーつて。

○市 そうですね。ドラムで押し込むという形です。

○利用者の会 押し込むということですね。これ、そのブレーキでシステム停止というのは、これまでも何回か発生して、ずっと再発していると思うのですが、これは最近どうなのですかね。昔と比べたら増加している傾向はないですかね。

それと、押し込みスクリーがブリッジをするという原因は、どんなことが考えられるのですかね。前には、新聞や何やかんやいうこともちらつとあつたと思うのですがどね。

それから、この辺の機器に関してでもそうなんやけど、過去からの傾向やとか、それと、原因不明で終わるのではなしに、やっぱり、考えられるその原因なんかも出してきて。例えば、ブレーキにしたつて、新聞や古着や何やかんや押し込むからこんなになるとか、何かのやっぱり理由を出してほしいなという気がしています、それが1点。その辺の押し込みスクリーの件、それをお聞きしたいのが1点と。

それと過去からずっと再発していることで、鍵ですね、鍵。これ、鍵穴斜めで放置して、定位置に戻つてないという。これがそこの地域で起こるということは、再発する可能性が十分あるわけですね。それに対して何か手打つていますか。

いや、というのは、鍵が悪いから途中で抜けるわけですね、この鍵が。鍵が悪いから途中で抜けている。ほんで、次に来た人が入れようと思つても入らない。せやけど、その鍵が悪い人は理解されているのかな。自分とこの鍵はすり減つて、また抜けるということを理解されているのかなという気がするのですね。せやから、この辺もやっ

ぱり、しっかりと再発防止せないかんという気がしているのです。

ただ、この再発防止と言っても、なかなかわかりにくいと思うのですね、何が悪いんやということなんで。この辺は、鍵の断面というか、鍵を正面から見たところ、こう、ぎざぎざ、ちょぼっとあって、下のちょぼっとあってという、これが悪い分はこれぐらいまで減っていますよという、具体的な、その辺、何かモデル。絵を描いたりとか、写真とかでその辺がわかるように皆さんに訴えてほしいない気もしますしね。そこが減っているということは、その鍵を持った人、また新しく鍵変えてもらわないかんですね、と思うね。せやから、もしそれが起こったら、そこの町内ぱっと回すとか。こんな人いますよとかね。本人に気付いてもらうようにしないと、これはやっぱり、これからもずっと続くん違うかなという気がしますね。それと。

○利用者の会 ちょっとその件についてよろしいですか。

○利用者の会 はいはい。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

後で御説明しようと思ったのですが、資料6の4ページ。これ、春木さんがずっと、前々から何とかせないかんということでおっしゃっていたので、私のほうでマニュアルを一応。これはたたき台ですけど、案をつくっています。そこに最初に持ってきたのが、突起物摩耗のトラブルということで、こういうふうに写真をつけまして、どこがどう摩耗しているとか、方向は12時、3時の方向とか、どこでこの鍵を購入したらいいのかとか、そういうポイントをここに書いて、整理をしています。まだ、これは私のアイデアの段階なので、これから市のほうとも利用者の会ともこの内容を吟味していただいて、できましたら、配布をしたいと今考えておりますので、ぜひとも。

やはりこういうことをしないと、恐らく利用者の方も何もわからずに。で、自分のほう（捨てた人）は全くトラブルはないわけですね。次の方が使えなくなるので、その辺も含めて、こういうものを今後考えて、説明会なり配布をしようと考えております。

○傍聴者 ちょっとその件に関して、根本的に違うものですから、話が。

○利用者の会 そしたら、野村さんどうぞ。

○傍聴者 すみません。今、春木さん御説明なり、山口さんも。鍵というのは、オンタ側とメンタ側とがあるんですけども、ここで、オンタ側がみんな持っている鍵なんですね。鍵を突っ込むほうにメンタ側があるわけですけど。オンタ側が減っているだけじゃなくて、メンタ側も減っているわけです。

この前、たまたま潮見町で、私とこの近くにあつて、それで鍵があきにくいということで、鍵が減っているという感覚じゃなくて、僕は鍵のメンタ側を交換してほしいと御連絡したのですが、異常は、問題ないということで、そのままほったらかしやったんで、私のほうで御無理を言ってメンタ側を交換していただいたんですね。メンタ側を交換したら、少々減ったオンタ側の鍵ちゅうのは全部そのまま使えます。

だから、メンタ側のほうを、そんなに、コストどれぐらいするのか、そんなに高いものではないと思うのですが、メンタ側を交換したら、今のところ、それでいけるんじゃないかというふうに考えます。

だから、オンタ側をみんなが、鍵が減ってるからどうのこうのって、このところの突起物の問題おっしゃいますけども、メンタ側のところに、押し込んだときに、構造上で言うとバネが入っているのですが、そのバネが不良になっているか、それか、動きが悪くなって。これも、みんな普通悪かったら、これ注油するのですが、注油したらあかんのですね。そこにごみがたまっちゃうから、また動かなくなると。だから、普通、鍵屋さんはどないするかというたら、こんな鉛筆の芯みたいな、どう言うのか、カーボンみたいなものを塗って、それで差し込んでやるというような形をとるんですね。だから、この話は、今後一遍、鍵屋さんのプロが見たほうが、ここでああやこうや言ってるより早いと思いますけどね。

○利用者の会 ちょっとだけ補足させてください。

○利用者の会 はい。

○利用者の会 これね、今、野村さんも言われたように、いろんな原因が複雑に絡み合ってるという気がするのですね。今これ、山口委員長がまとめていただいたこの図を見ても、鍵の突起物ありますね。これ、メンタ側やオンタ側言うたらオンタ側ですか、オンタ側のほうに突起物がありますね。この突起物が減ってくると、何ぼ中がどうであったとしても途中で抜けるのですね。何でや言うたら、この、この下の、この面ありますね、これ外側固定になっている部分には、この突起物が抜き差しできるための溝がこうありますね。これは固定なんですよ。で、中にメンタ側があつて、そこへオンタ側を入れるときに、外側の固定部分のこの溝のところへオンタ側の突起を合わせて入れると。中のメンタ側をぐるっと回すと。

ほんで、普通やったら、この突起があつたら、途中では絶対抜けないですね。当然、外側のこの穴が動きませんからね、これは。これ固定やから。途中では絶対抜けない

はずなんです。ところが、オンタ側のこの突起がなかったら、途中ですつと抜けますわね、途中で抜けますわね。せやから、この辺またワーキングで、ここの構造を、実際の物あるんやったら、その実際の物もちよっと持ってきてもうて、またその辺やったらええと思いますわ。

やっぱり野村さん言いはったやつも、メンタ側のほうのやつも1つありますけど、やっぱりオンタ側の突起があれば、絶対途中では抜けないですよ、溝がないんやから、その突起抜けるわけがないわけですよ。途中で普通の鍵やったら絶対抜けないです。せやけど、もとの位置に戻して、この外側の突起が通るような穴のところへその突起が来て初めて抜けるわけですから。せやから、いろいろあると思うのですよ、原因が。やっぱりこの辺もうちよっと実際の現物を置いてでも、やっぱり議論したらいいと思いますね。

せやから、メンタ側もやっぱり大分傷んできていると思うのですよ。この下の、この今日聞かせていただいたんでも、びっくりしたんやけど、この巡回及びあれで変えたというたら、このコインマスターというのがメンタ側ですね。だから、コインマスター交換いうのを、利用者からの連絡対応で1件。それと巡回及びあれでやったのでは3件出てきているわけですね、コインマスターって。せやから、向こうの芦屋浜のほうも、やっぱり大分へたってきているのと違うかなという気もしますしね。うちのほうもちよっとガタがあるような気がしてます、最近。また、ここでやっても大分時間とるし、また実際に現物持ってきてもらって、またその辺やれたらいいと思いますので。

○利用者の会 大田です。

先ほど春木さんもおっしゃいましたけども、鍵のほうが、もうちよっと摩耗してきているということもあるとは思うのですけどね、差し込み口の、メンタ側いうんですか、これがちよっと動きが悪くなってきて、無理して鍵を回したりすることによって、鍵自身が摩耗していったりというようなことも考えられると思うんですね。だから、どちらが原因かというのは、両方に原因がある可能性があるということで、やはり差込口のほうもやっぱりメンテナンスしていく必要があるん違うかなと。スムーズに動いてれば、無理して鍵を回す必要もないと思う。そのとも、ちよっと、検討していただきたいということですね。

それから、システム異常発報対応というところで、例えば、場所のところで遮断弁井

1200というふうに書いていますけども、これは遮断弁番号であって、投入口番号じゃないわけですか。投入口番号で言えば何番になるのかということも、ちょっと欲しいなと思うんですけど。1200と言ったら、1201とか、12131とか、そういうのに近いのかどうかということですけど。

○市 それ以降は全部潮見町の投入口になります。

○利用者の会 全部がぶらさがっている。

○利用者の会 そう、潮見町全部がぶらさがっている。

○利用者の会 具体的にどこの投入口ということではない。

○市 そうですね。

○利用者の会 じゃあ、これの特定、いわゆるモニター確認してということは、原因的には何が原因だったかと。ハード面が原因だったのか、ごみ関係が原因だったのかいうところがちょっと。モニター確認して、異常解除後、復旧したということで、この異常確認というのか、原因が何であったのかいうのがちょっとよくわからないのですよ。だから、多々ある、潮見のほうで、潮見町のこと言うて申しわけないですけども、自分とこのことですけどね、ごみが原因でぶら下がりとか、そういうところである程度あるのかもしれないですけども、このモニターで確認して解除されたということは、ちょっと何か原因がもう一つよくわかんないというところですけども。

以上です。

○市 芦屋市の藪田です。

それでは、ちょっと私のほうから、今の鍵の件で少し。まず、鍵ですけども、皆さんに知れ渡っていないのじゃないかというのは御意見としてあったみたいですが、これ今、最新の家庭ごみハンドブックですけども、ここにも鍵のこと書いて、摩耗した鍵で使用すると途中で抜けてしまい、次の方が使えなくなるため、使用後は必ず閉に戻してくださいと書かせていただいております。紙面の都合上、そんなたくさんとれないので小さいんですが。これは、この前の代のハンドブックからずっとこのことは言っていて、ハンドブックって各戸配布させていただいておりますので、皆さんのお家には必ず届いているものです。

それと、数年前に私どものほうから発行しましたパイプラインの使用についてとか、我々でつくった冊子、自治会さん等にもいろいろと協力していただいて各戸配布したのですが、あそこにも鍵のことを書いておりました。それと、今の芦屋市のホームペ

ージでも、このような形で、写真つきで鍵のことは書いてありまして、過去からずっと、やはり鍵はトラブルがありましたので、いろんな方法で事あるごとにお知らせしているというような状況です。

鍵が摩耗しているので鍵買いかえたほうがええのと違うかとか、鍵の差し込むほうが古くなっているから、変えたらええのと違うかというのものもあるのでしょうけども、この件に関しましては、何て言うのか、使う方の工夫でこのトラブルというのは防ぐことができるのかなと、今の段階では。それは差し込むほうも、鍵のほうも摩耗していたら途中で抜けるのだけど、使う人がしっかりと最後まで戻すということさえ工夫してもらえれば、このトラブルというのは防げるのではないかなとは考えていますので、今はそういうようなやり方で何とか解決できないかなと思っております。

鍵の差し込むほうも、ここにもありますけど、先ほどもあったのですが、コインマスター交換という形で、さすがに使用に耐えないところまできますと、我々のほうも点検で交換していくということになります。

私からは以上です。

○利用者の会 どうもありがとうございました。

はい、山口さんどうぞ。

○利用者の会 先ほどの大田さんの話なんですけど、それを解決するためには、この運転報告に、またあんまり追加追加ですると大変なので、丸掛け三角ぐらいで、利用者の問題なのか、それともシステム上の問題なのか、両方なのか。何かその辺の表示を1行追加して、正確じゃなくてもいいと思います。恐らくこうだろうというものがあると思いますので、そういうふうに関心だけつけていただくとわかりやすいかなという気がします。

そして、そこでわからなかったら当然ワーキンググループが、月1回、開いていますので、そこでもうちょっと深く検討したらいいと思います。そういう欄が1つ、見るほうは、ああ、これは利用者側の問題かな。両方もあると思うのです。だから、その欄は1行ふやしていただくと、よりわかりやすい表になるかなという意見です。

○利用者の会 どうぞ。

○利用者の会 春木です。

鍵の件はそれ。私もそれ見て知っているのですが。その一番下に2行ぐらいにちらっと書いているので。この辺はやっぱり、もうちょっと、野村さんの言われることも

そのとおりやし、その辺をみんなでやっぱり掘り込んで、追究して、それを一般の人にわかりやすいようにするにはどうしたらええのかとかね。

例えば、コインマスターにしたって、もう極端に言うたら、TBM、タイムベースで取りかえてしまうかと。もう、一番頻度の多いところ、何年たつ、10年、20年たったらもう、ぱぱぱっとやってしまうとかね、極端に言うたらですよ。けど、それも含めて、また議論をお願いしたいなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

あと、疑問なのでどうしてもあれなんやけど、利用者からの連絡対応で、バケット開かないというのがありますね、開かない。これ見たら、バケットが半開きになっていたと書いているんですね、現場確認したら。半開きになっていたら開かない。これ見たら、状態、利用者から連絡があつて、バケット開きませんということで、来てくれと言うて、現場確認したら、バケットが半開きになっていましたと。半開きのまま止まっていたと。なら、半開きのままになっていたら開かない。やっぱり何か原因があるのと違う。原因がね。

○市 何かひっかかっていたと思います。

○利用者の会 やっぱりこれお願ひしたいなと思いますが、ともかく、その辺、ちょっとわかるような。オペレーターの人にも言うとして。これこれや、見てね、ある程度、その辺もちょっと、ここの作業内容のところ。これやと考えられるということは。従来は、詰まっていた、詰まっていたから閉まらんかったんやいうのやらあるので、よろしくお願ひしようと思います。

それと、あと、パイプライン停止報告。これも今。このパイプラインの停止報告ちょっと聞いてもええ？これね、今、いつやったか、7月6日から全域停止ということになっているんやけど、7月5日の時点では、最初、浜風町、新浜町ということで、なつて、次の日になったら全域ということになつるとのやけど、これはやっぱり輸送管の穴あきですね。たしか以前、今、穴があいてる箇所は13カ所あるんやということで、前、たしか一覧表をもうてるんやけど、その中で、今年度、平成30年度は5カ所。5カ所を今、公募をかけていて、この平成30年度中に補修をするということになつてると思うんやけど、今回のこの辺の関係でまた当然見直すんかな。また、どっちみち、はがれてしまうしね。最初もうたときは、公募5カ所をかけているけど、浜風、新浜で停止になったというあれ見たとき、今年度やる部分に、そこの対象の穴あきの輸送管の部分が入つてなかったからね。何でこれ入つてないなと思うたんで、その辺をち

よっと聞かせたってほしいなと思いました。

○市 一応、先ほども言いました、30年度の工事に関しましては、入札が終わりましたので、今年度行う予定になっております。穴あきに関しましては、今年度5カ所予定をしているのですが、今回、このような、水が入ったときに、私たちもわかる部分があるので、前回のワーキンググループで御説明させてもらった13カ所以外にも、多分ほかにも穴があるかと思うのですが、それまた追加追加で今後はしていくと思いますので、また、今後の復旧作業中に幾つか穴が発見された場合は、表に多分、追加追加して行って、今後どうしようかというのは、私のほうで考えまして、それは多分どこかで御報告等はさせていただきますので、それで対応のほうはさせてもらおうと思っております。

まだ具体的に、今あれ以上にどこが穴あいているのかというのがわかっていないような状態になっております。

○利用者の会 大田です。

非常に毎回大雨が降るたびに、こういう運転ストップすると。それをまた原因を追究していくということで大変御苦労さんなことだと思います。こういうのを見るとね、ほんと今後、言われている芦屋浜20年、南芦屋浜の30年、これを絶対、継続、そのまま継続することが何かごっつい心配になってくるのかな、というのが、ちょっと我々としては思うところなんですけどね。

これ、雨がやまないと、原因、穴あきの場所を確定することが不可能ということでしょうか。それとも、穴があいた状態で、以前、写真で見せてもらったけども、噴き出している写真見ましたけども、そういう状態であれば、ここに穴があいているのかというのがわかるのだと思いますけども、今の現状で、穴あき箇所を確定するということが可能なかどうかというのをちょっとお聞きしたいのですが。

○市 芦屋市の林です。

水を抜かないと穴の確認ができないというのは、水を抜かないと、カメラを入れたり入管することが、安全上とかあってできないので、ある程度、水が。雨がやんで、排水作業が終わった時点で、カメラとか点検口周りを確認いたしまして、穴の確定をしようかなと思っております。

現状、水を抜いてもどんどん入ってきてる状態なので、実際どこから入っていくかもわかりませんので。抜けるところに関しましては、どんどん抜いていこうとは思ってい

ますので。また、都度、都度の作業になるのですが、御了承お願いいたします。

○利用者の会 ということは、当分、復旧の見通しが今のところたっていないということでしょうね。

○市 はい、そうです。

○利用者の会 ありがとうございます。それでは、次の議題の2番、ワーキンググループの取り組みについて。資料3に関しまして、山口委員長のほうから御説明をお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。きょうは雨の中、皆さん御苦労さまです。

ワーキンググループというのがありまして、これに対する基本的な考え方というのが、要綱という形で、たしか2年ぐらい前ですかね、つくって、それに基づいて活動したのですが、次の段階に、この協議会も今行っているということで、一応、方針も決まっていますので、じゃあ次どうするかということで、利用者の会でもいろいろ話しまして、最終的にはこの要綱を変えるということになると。要綱を変えないと、また、勝手な動きとか、いろんな事になりますので、この要綱に、大きな方針に基づいて、ワーキンググループをしていくということで、今回、以前のワーキンググループに加えたものがありますので、その説明をいたします。

まず、第2条は、状況が次のステップに行ったということで、ちょっと薄い字で書いてある3から6までをこのワーキンググループの議論の対象にしていきたいと思います。1、2は以前にあったとおりですが、3番目、パイプラインに変わる代替案の検討。4番目、住民のパイプライン施設に関する教育・啓蒙に関する提案。市とパイプライン利用者との迅速で正確なコミュニケーションの具体的な検討と提案。そして、今後の芦屋市のごみビジョンに関する策定という形で議論を深めていきたいということで、ここに載せています。

それから、8条、ワーキンググループで、これは議事録なしにお互いが思うところを思う存分述べようという観点もありまして、議事録はなしということにしておりました。ただ、そうすると、単なる雑談で終わったり、それから何か言ったの言わんの後になるので、やはり議事録はなくても、こういうことを決めましたよ。それから、こういうことを今後しなきゃなりませんよねという、その2点だけは確実に記録として載せていくと。そうしないと、いや、あのときこう言った、いや、ああ言ったとか、何かわけわからんことに後でなると、せっかくのその議論の時間が無駄ですから。き

ちっと、T o D o L i s tは最低限載せていこうという考え方です。

次のページです。それに伴って、ワーキンググループが以前6つあったのですが、4つに整理をしていこうということです。ワーキンググループAというのは、今もやっていますし、最初からスタートしたのですが、分析とかそういうものも含めて、今後芦屋浜20年、南芦屋浜32年、パイプラインの設備を運用するための効果的な維持管理の検討、費用削減及び代替案の検討ということで、これを1つ大きな目的としてワーキンググループAをやっていた。

それから、ワーキンググループBというのが、これは今の、先ほどの林さんからの説明もありましたけど、住民起因のトラブルをなくすというのが我々でできることなのです。これ、利用者ができることなのです。システム上の問題はいろいろありますけど、私たちのマナーとか考え方によってできるものは積極的にやっていこうということで、ワーキンググループBということで、住民起因のトラブルをなくす。そのためのゼロ運動と、そういうことをやっていったらどうかと思っています。

ワーキンググループCは、今まであったBですね、パイプラインの投入口の上にボードを設置したり、いろいろなことを、成果を上げたり、またはメールでの迅速な対応という、いろいろやっています。これは引き続き今後ともやっていこう。ただ、BからCに名前が変わります。

そして、最後に、ちょっとこれは長期的な問題なのですが、やはり最終的には、ごみビジョンというものを1つつくっていかなくちゃいけないかなと考えています。ただし、これはこの協議会の範囲を超える問題になってきますので、とりあえずデータをまずはそろえるとか、どこに絞る。例えば、ごみビジョンってあんまり風呂敷を広げるとぼやっとしてきますので、こうなったらいいだけで終わりますので、例えば、CO₂削減に対してビジョンを立てるとか。そういうふうに、そこに焦点を絞るとか、いろんな考え方はありますので、当面、今すぐにこれを立てるのじゃなくて、数年かけてこれをつくっていこう。その中で、どこに焦点を絞るとか、どんなデータをどうするとか、そういうものを含めて、今からこのグループを立ち上げながらやっていったらどうかと。

この4つのグループ、A、B、C、Dを今後のワーキンググループの活動の場としたいということで、要綱をそれに合うように変えたということです。

何か皆さん方から御意見がありましたらお願いします。

○利用者の会 大田さんどうぞ。

○利用者の会 大田です。

利用者の会の総務会の人間として発言するのはちょっと問題やと思いますけれども、これ、AからDという形でグループが分かれていますけれども、市側として、これ平行して、平行して言うか、これ4つのグループ、これ時間的に話し合うことは可能かどうかということなのですかね。専門的に深く突き詰めて検討していくということは、それぞれわかる必要もあるのかもしれないけれども、時間的に、ほんとに可能かどうかということなのですね。それならもう一遍にして、一遍にこの問題を取り上げていったらどうかというふうに思いますけれども。山口さんの意見も当然必要だし、いわば、藪田さんの意見、市側としての意見も必要だと思いますけれども、その点、いかがでしょうか。

○市 芦屋市の藪田です。

そうですね、今の御意見ですが、確かにそのとおりで、市のほうとしましては我々3人で対応、ここにも書いていますが、対応させてもらおうと思っています。ですので、どれだけここに時間を割くことができるのかということになるんですけど、そこはちょっとお互い調整しながら進めて。でも、これ全部やっぱりやらないといけないことやとは思っていますので、ちょっと時間とか日程とか調整しながら進んでいけたらなとは思っております。忙しいからこれやめようとかというのは考えてなく、全部やりたいとは思っていますので、努力はしていきたいと思っております。はい、お願いします。

○利用者の会 大田です。

実際、月4週ないし5週として、これを毎月なのか2カ月に一遍なのか、それぞれ順番にやっていくのかどうかということになるとは思いますけど、何かそういうふうにやっていると、延び延びになっていく可能性が非常に高いのと違うかなと思うのですがね。やっぱり、それぞれの、AからDの中でも、これを重点的に、やっぱりこの月はやっていこうとかいうようなことが必要かなと思うのですが。

Dの今後の芦屋市のごみのビジョンということになると、非常に大きな問題になると思うので、これちょっと、今のところは無理かなというふうに思いますけれども。AからCに関しては、今後ずっと突き詰めていかないといけないかなと思いますけど。あんまり分けてやると、どんどん延びてくる可能性があるんで、このAからCの中で

も、特に次のグループの機会には、これをやっぱり重点的に検討していく必要があるのと違うかなと課題を見つけた上で、実施していったらいいかなというふうに思いますけども。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

そうしましたら、そういう案があれば、総務会でたたき台をつくりましょう。なぜならば、この会は批判するとかいう会ではないのですね。お互いに問題を解決するために、こうしようというアイデアをぶつけ合う会ですので、当然それに伴って、大田さんのそういう意見をお持ちなら、今回の、来週水曜日に総務会をやりますから、その中で、総務会としてこういうスケジューリングでやったらどうかという提案書をつくって、次のワーキンググループなりに1つ持っていきたいと思っています。

それでよろしいですか。はい。

○利用者の会 ありがとうございます。そしたら、春木さんどうぞ。

○利用者の会 春木です。よろしくお願いします。

これから進めていくということで、山口委員長にこういうことをつくっていただいて、非常によかったなと思います。今後とも、いい形のほうに進んでいけたらなと思います。私がちょっと思っているのは、例えばグループAですね。今後、芦屋浜は20年間。先ほども輸送管出たんですけども、20年間、南芦屋浜は32年間、とにかく何とか頑張って存続させると、運転するということですね。そのために何をすべきかというようなことが非常に大事やと思っています。

今、この間ワーキングでも言うてましたが、芦屋浜20年間、南芦屋浜32年間の費用ですね。これ、また今度のワーキングで出してもらえと思いますが、そのための1つとして、その中の1つとして、当然、住民のトラブル、システム異常、それらを減らしていく必要がありますね。これは委託費ですか、委託費。今後の委託費に絡んできますね。15年後から20年後、この間どうするかというようなことで、それらに絡んできますので、ということだと思います。

それと、やっぱりもう1つはコミュニケーションですね。これらにも絡んできますので、この辺、特にグループAですね、その辺がしっかりと企画いうか、再スタート、再スタートいうか、第2ステップのスタートに当たって、十分この辺しっかりと入れ込むということが大事だと思っています。

それと、一方、前からお願いしていたのですが、環境ですね。とにかく平成26年のと

きは、芦屋市の考えとして、コストと環境と公平性が大きな問題や言うて、第三者委員会開いて、廃止案をこうやってきたわけですね。それで今現在、こういう流れで来ていますので、やっぱり環境を問題とした以上、収集車と比べて700倍CO₂の排出が多いと、あの当時言うたのですね。それは皆、頭に残っとるわけですよ。やっぱりCO₂も含めて、この協議会、利用者の会も一体となってやっている意味で、やっぱりCO₂削減できた部分は表に出すべきやと思います。

だから、とにかく平成29年度のコストダウン。電気のコストダウン、この間、いつやったか出してもらいましたけどね、2,300万か。せやから、それにあわせてCO₂も削減できているわけですね。そしたら、その辺もやっぱり表に出してほしいですね。それはやっぱり行政もCO₂削減頑張っとるでというようなこと含めて、ぜひその点よろしく願いいたします。

○利用者の会 ありがとうございます。そしたら、この議題に関しましては、利用者の会でもう一度練り直して、再度、新たに、来月ごろですか、以降、芦屋市さんのほうへ、この協議会に対して提案させていただくということにさせていただきたいと思います。

続きます。

○傍聴者 1つだけいいですか。

○利用者の会 はい、野村さんどうぞ。

○傍聴者 野村です。

特にグループAだと思うのですが、先日、山口さんもちょっとおっしゃってたと思うのですが、これ、総務会でお話したいのは、それぞれの問題のタイムスケジュールというか、今年中には一体何を話するのや。それから、中期スケジュールで、3年やったら3年、2年から3年の間には何をやるのや。それから、今度5年、10年という長期での形では何を話するのやと。それをはっきりしないと、そのスケジュールが全然いまだに出てないということに、山口さんもいらいらされていると思うのですがね。ちょっとそこだけはどこで話する気なのか。

それから、もう一つ、私も考えてみたのですが、非常に、これ、何をどういう順番でどうしたらええかって頭がぐちゃぐちゃになるのですわ、はっきり言って。よくわかんないのやけど、せやけど、そのスケジュールだけはちょっとつくらないといけないのではないかなというように思っています。どこでそれも話すべきなのか。協議

会で話すべきなのか、グループAで話すべきなのか、総務会で話していただくのか、ちょっとその辺のとも含めて整理いただけたらと思います。

○利用者の会 1点だけ、1つだけ。私もこの芦屋浜20年、南芦屋浜32年ですね。芦屋浜は15年後から20年、5年かけてとめると。ほんで、その後、南芦屋浜は30年から2年かけてあれやということで、一応、利用者の会とこの協議会で提案書いう形をまとめて、ほんで今、市の考えということでずっと進めてきて、住民説明会も今終わって、今度審議会ですか、そこで報告というようなことも聞いていますけど。やっぱり一番はこの協議会が、利用者の会がつくりこんできた、あの提案書ですね。あれがやっぱり市の考えの一番基本になってますので、あれを今、20年後、32年後にいただいた費用、あれを今つくってもらっていますね、この間出したやつで。

○市 前に出しましたよね。

○利用者の会 あれを訂正せないかんよね。

○市 訂正したものを出しましたよね。

○利用者の会 あっ、出した。

○市 はい。

○利用者の会 ああ、そう。ほな、それを。それが一番ベースになると思うんですね。せやから、あれをベースにして、私が思うのは、個人的な思いを述べたらちょっと申しわけないかもわからんけど、あれをもとにして、今後どういうスケジュールでやっていくか、代替案も含めて。そういうスケジュールの管理工程表、これが必要やなど私も思います。もちろん中期、あるいはもっと、それをベースにした短期ですね、今年度何をやるんかということも含めて。その辺は私も今後必要になると思いますので、今後、作り込んでいくように、よろしく願いしたいという気がしています。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

スケジュールに関しては、大田さんの言ったことも恐らく考えなきゃいけないし、春木さんのおっしゃったことも考えなきゃいけない。まずは市の基本的な、何て言うのですかね、決まっているわけではないのですね、まだね。ですから、それがちょっと1つの大きなネックはネックです。だけども、それをずっと見て、ほったらかすわけにもいかないというのが片一方にありまして、今、ワーキンググループAでやっているのは、どういうふうな20年、30年の予算配分というか、金額をどうするかというのをまず詰めようじゃないかということで、これは当然、市のほうの恐らく10年計画な

りの中に入っていく問題だと思うのです。これが一番最初やと思います。

その後、いろんなものがあって、これは、今はワーキンググループAでも総務会でも利用者の会でもこの会でも、みんなでぐちゃぐちゃ言う。その中で、恐らく見えてくるものもあるような気がするのです。ですから、議論もせずにはほったらかすというわけにもいきませんので、皆さんの屈託のない意見を、それぞれの場で話しながら、集約していくという形になるかなと思います。

以上です。

○**利用者の会** ありがとうございます。最終的には、私ども利用者の会で、もう一度、これをもう一回練ってみようかなと思います。それは総務会でやるか、それともまた我々の利用者の会全部の皆さんでの会議でやるか、それはまた私どものほうで決めさせていただきたいと思います。

続きまして、本日の議題4番、今年度の活動ということですね、資料の4番、山口さんのほうからよろしくをお願いします。

○**利用者の会** 利用者の会の山口です。資料4を見てください。

これミスがありまして、タイトルは6月13日に行われたワーキンググループAでT o D o L i s tをつくったという、それです。ちょっとこれ、協議会ではないです。

その中で話し合ったので、私のほうでメモをとりまして、そのメモで、こんなことを話し合いましたよということをみんなで共通基盤として持っておきたいということで作りました。当然それに参加された方もこの中におられますので、こんなこともあったよということがあれば追加されたいと思います。

まず、最初に話したのは、パイプライン施設の障害問題を、どこにどんな原因があって、今後どうするのかを徹底的に、ことし1年間話し合おうということをやワーキンググループAでは、この間話ししました。

それで、運転報告書に関しては、作業時間の合計、作業人数の合計、それからトータル合計金額を表示していきましょう。

それから、電気料金の削減というのを協議会で毎月報告されていたのですが、内容はほとんど一緒なので、それは半年ごとぐらいでいいんじゃないかということになりました。

それから、トラブル回数が多いのは、単に投入口何番というよりは、きょうも示してありましたけども、ああいう地図で、どこどこのどうのどうのというのがないと理解

しやすいということで、地図でも表示しましょう。

それから、トラブルがあったごみを、できたら透明な袋で、この間の利用者の会でも、友田さんが会議室の入口に並べて、非常にインパクトがあったと思います。ああいうのをしていく。または投入口のよく見えるところに置こうということです。

それから、経費削減の取り組みの電力に関しては、電力使用量の細かな分析、ごみ量との関係、送風機運転との関係、こういう関係があるので、単なる電気料金が下がっただけじゃなくて、量とかいろんな問題も今後詰めていきたいと思いますということになりました。

それから、これもワーキンググループAでの今年度の3つの取り組みということで、PDCAを回しながら、パイプライン施設の設備保全の検討、電気計装設備の検討、維持管理費の削減、代替案のデータ収集と検討、故障トラブル低減活動とそのための提案、そして、ことし1年間しっかりとこの活動を続ける。そして、住民起因のトラブルをゼロ化していこう。そして、こういうものはきちっとデータを載せて、ファクトブックという形にまとめていこうということ、前回、6月13日のワーキンググループAで話し合ったということで、約3時間、その場で話しました。

あと、参加された方で、いや、これもあったよということであれば、追加をお願いします。

○利用者の会 ありがとうございます。尾川さんどうぞ。

○市 環境施設課、尾川です。

6番の経費削減の取り組みの電力の件でということなんですけども、これちょっと、いろいろ私のほうでも見てみたんですけども、やっぱり電力使用量とごみ量というのは、ちょっと相関関係って余りないような状況になっています。

皆さんの昨今の努力というのですかね、ごみの削減を行ってもらって、ごみ自体は下がってきています。ごみ量自体は下がってきています。ただ、それに伴って電力が下がってきているかといったら、そうはなっていないような状況です。やっぱりこういうようなトラブルがありますと、通気運転をせなあかんとか、水を引っ張ってこなあかん。こういうようなときには物すごい電力量としては上がってしまいます。実際、ごみとしては流れてこない。パッカー車収集、臨時のパッカー車収集をすると、それは電力量には反映されないけども、ごみ量としてはまたこれも反映されない。

だから、なかなか、どっちか言うと、トラブルとか何か詰まった、詰まったら今度

は無理やり高圧洗浄車を呼んでやるよりも、ブロワで引っ張って何とかこっちにこさせようとするのですけども。それやると、今度は電力量が上がってしまうと。だから、なかなか、ちょっと相関関係が難しいような状況になっています。

ただ、いわゆる、ごみ量と電力量、これを毎月出して、送風機の運転時間出すのは簡単ですけども、やっぱり、なかなか、それからのアウトプットというのが出てこないような、こういう状況なんで、というのはないような状況です。ただ、今、利用者の会からの助言もありまして、定時運転を朝に、早朝にするというのと、あと、赤ランプ6個ついて初めて運転する。これで物理的には実際にちゃんと電力量というのは下がってきています。

ただ、それよりも、さらにトラブルがあって、電力量が上がっているんで、なかなかその値が見えにくいような状況になっています。これは項目として上がってるのですが、なかなか、ちょっと関係性というのは。定常状態が、例えば何年か続く、トラブルがなく続くようなことがあると、相関関係というののははっきり出てくると思うのですけども、なかなか、こういうような、今の台風とか大雨があるような状況。例えば、いろんな詰まりがあって引っ張ってこなあかん状況があると、ちょっと相関関係が難しいのかなと思います。ただ、データとして出すことは可能です。

以上です。

○利用者の会 大田です。

4番目のところのトラブル回数の多いところは地図で表示するというふうに書かれますけど、これ資料2で、林さんのほうで資料2つくられていると思うのですけども、これの、ページ2のところでも分かれているんですよね。前のページのが、2枚目の途中に写真が出ているというようなことになってますので、これちょっと。自治会でも、自分とこの自治会で配ろうとしたら、これ非常に、これ切って張ってやらないといけないので、場所と写真と一体になった形で、セットでやっていただいたらと思います。

○市 ここに目次をいれて、ちょっとずらしてやります。

○利用者の会 そちらのほうに、下のほうに地図と何か張ってますよね。あれだったら、場所と原因というのがわかるから、ああいう形で一枚物でやっていただいたら、自治会も配りやすい違うのかなと思いますんで、よろしくをお願いします。

○市 はい、済みませんでした。

○利用者の会 春木です。よろしくお願します。

先ほど尾川さんに説明してもらった6番の件なのですが、送風機、これトン当たりの運転時間。これがやっぱり、過去と比べたらふえていると思うのですね、1割か2割。これ、割と非常に大きいと思いますね、650キロ。通常500キロぐらいで運転しているのかわかりませんが。ということは、1割か2割かは逆に言うたら、お金を使っているんやということになると思うのですよ。この辺をちょっと、難しいかもわからんけど、追究してほしいという気はします。

例えば、通気運転ですね。最近ふえてきた。災害、大雨で、そういうことは除いて、ふえてきたということはないですかね。例えば、事業者のところの投入口は、もう投入禁止やでというのは最近やり出したんやないんかな。もし、最近やり出しているのやったら、そこは定期的に通気していますわね、輸送管とか痛まんように。ほんなら、それをなくすということは、ごみは減っているけど、無駄な電力使っているということになりますしね、その辺がどうかということと。

それと朝5時半。5時半にしたことによって、無駄な電力を使っていると違うのかと1つ考えられますわね、朝早くしたことによって、いうこととかね、考えられることはあると思うのです。やっぱりこの辺、1割も2割もふえているということは、それだけトン当たりの消費電力が多いので、それだけ電気代も使っていると思うけど、これをちょっと、ぜひまたワーキング等で追究してもらって、やってほしいなと思います。

私は前から何遍も言うてますけど、送風機1台運転思考ですんで、よろしくお願したいと。

○利用者の会 ありがとうございます。ほかにございせんか。

なければ、次の本日の議題4番、資料5と資料6に関しまして、山口委員長のほうから説明をお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

私たちが何ぼきれいなことを言っても、私たち自身がパイプラインを痛めるような行動をしているということに対しては、非常に、私自身、腹立たしいものを覚えますし、逆にもっと努力すべきことがあるのじゃないかと常々思いました。

それで、前回の利用者の会でワークを開きまして、皆さん方から、ここにありますが、150ぐらいの提案をいただきました。と同時に、お二人の方から個人的に提案をいただきましたので、それを含めて、今後具体的なアクションプランをつくろうと今考えて

います。

8月ぐらいにできたらいいなということで、それに向かって、最初に、皆さん方から意見を頂戴したと。と同時に、意見を頂戴するということは、参加意識が高まるということで、ワークを開きました。ワークも1時間ぐらいで150ぐらいアイデア出ましたので、すばらしいかなと私は思います。

それを示したのが資料5です。資料5に、皆さん、カードに、1アイデア、1件書いていただきまして、私のほうでまとめて、KJ法を使ってまとめたのが資料5の中間報告1というやつです。カテゴリー的に考えますと、5つぐらいあるかなということで、情報をどう伝えるかという話と、それから、我々の自治会、管理組合、または利用者の会の組織をどう強くするか。そして、どんな技術的なことで解決ができるのか、その技術的なものをわざ（技）という形にしました。

そして、作法づくりと書いていますが、ルールですね、罰則を入れるとか、集団回収に持っていくとか、ルールの見直しとか、投入口の制限を設けるとか、そういう作法というふうにしてきて、最後に、やはり利用者の会も含めて勉強しなきゃいけない。広報紙を活用したり、考え方を変えたり。考え方を考える、どういうことかと言ったら、わざと入れる人がいると思っています。これは入れてはいけないなど、どっかに思いながら入れてしまうと。本人は入れられたので、ああ、もうかった。だけど、次の人から使えないということで。それから、勉強会、注意喚起。こういうものを、大きく5つのグループに分れるのじゃないかということで、具体的には次のページから、これ一個一個読んでいくと何とも。これはもうカードに書いたものをそのまま、私のほうで入力しただけですので、これもうちちょっと細かく詰める必要はありますが、これをベースとして、私たちのアクションプランというものをつくっていこうと考えたのがこのベースです、これが1つです。

もう一つ。じゃあ、その中に、広報として何か活動できるかということで、1つたたき台を私のほうでつくったのが、マニュアルという、こういうものです。こういうものをつくりました。これはどういうことか、位置づけはどうかというと、去年、これを全戸配布したのですね。各家庭、自治会、管理組合に持っていきまして、パイプラインに捨てるもの、捨ててはいけないものと、それから現状、どんなトラブルがあったかを配布しました。ここに書いてあるのです。

これはこれで効果があったのですが、もう少し、ことしは細かい点で、皆さんが

こういう物を捨てたら、こういう原因となって、こうやってパイプラインが詰まるんですよ。強いては税金の無駄遣い。それから、パイプラインを痛めることになるんですよということで、こういうパンフレットをつくっては、マニュアルをつくって配布したらどうかと。

これも、私がまだ、たたき台としてつくったので、いろんなところでたたいていただいでいいものにしてほしいなと思っているものです。全体の構想としては、まず2017年の現状というものがあって、これにどれだけ税金を去年は使って、どんなトラブルがあって、どこの地域がどうのこうのというのが載っています。これで現状をまず理解していただこうと。

ただ、さっきのあれを見ていたら、もう5月、6月で300万使ってるのですよね。撤去費用というか、ごみのこういう。ですから、ことしは恐らく昔に戻った金額なのかなと心配はしています。

現状を知って、そして、何が問題なのかというのを理解してないと思っています。自分が捨てたごみその後どうなるか本人は知らないのです。本人はうまくいくのです。鍵を途中で抜いても、本人のごみは捨てられる。ただ、次の人からできない。本人は次の人が使えないということは全く知りません。ですので、そういうことが問題ですよとここに書いています。

次は、ことしの4月からずっとあった問題の中で、いろんな、そこにある写真とかをそのままここに持ってきて、突起物摩耗のトラブルで、利用者ができることは、鍵は摩耗していたら交換しましょう、これが1つ。細かい点はまだ詰める点いっぱいあります。

それから、なぜ草木を入れたらトラブルかということが、写真で初めて私も見ましたので、ちょっとこの写真、横が縦になっているんで、これちょっと変えなきゃいけないと思うんですけど、弁の上にこういう草木がたまっで、弁が開閉できなくなるというのが、こういう理屈と、どうなるか。そして、これをやめましょうという。

○市 写真の向きはこれでオーケーです。

○利用者の会 オーケーですか。

○市 はい。

○利用者の会 縦になっているのをを使って、横じゃないですか。

○市 ちゃんと縦になっています。

○利用者の会 こうですか。

○市 弁はこう。

○利用者の会 こうですよ。

○市 これ、弁、下のあれが。

○利用者の会 ああ、そうですか。これでいいです。

○市 大丈夫です。

○利用者の会 じゃあ、次のページは、今度は、衣服を入れた。衣服はスクリュウ型の場合に、スクリュウに絡みついて、入れたら動かなくなるということで、写真もいただきました。ここにを入れて、衣服はだめですよ。

それから、次に、本とか新聞とか書類とか、そういうものを入れたら、こういう形で、投入口の下にたまって詰まってしまうということです。これは入れた本人は全く意識ないわけですね。ですから、そこにきちっと、やはり説明をしないと、だめだという意識でつくっています。

次に段ボール、段ボールもやはり私も実際に投入口の横に立っていて、こういうのをおばさんが一生懸命入れていました。口では説明したけども、本人的には、こういうふうにきちっと私は切っていますよとおっしゃるかもしれませんが、それでもたまるということです。それから発泡スチロールも割ってもたまる可能性があるということで入れました。

最後に、4月、5月ぐらいに入れられたもので、写真もあそこにありますけど、そういうもので、分厚い雑誌ですね。実は、私は高層に住んでいるのですが、これを捨てた方がおられて、雨の日捨てられたのですね。管のほうにぺたっとつくのですよ、これが。すっと落ちないです。ぺたっと水分でついてしまって落ちない。それで、もう、それを取るの大変だったのですけども、ディノスという雑誌で、本人の名前も書いてありましたので、嫌みをするために、掲示板の横にこれずっと置いていたんですけど、まあこういうもの、本人は全く気がつかなくて捨ててます。

それから、何とフライパン。12センチぐらいのフライパン。こういうものを入れると、恐らく、配管は、輸送管は傷むのですね。それから、中身の入ったペットボトルで、これ中に入っているんですね。この間、利用者の会でこれ展示しましたね、入り口にね。それから、土砂。今回もヘドロって話がありましたけど、恐らく土砂がらみかな。それから、きわめつけはビデオカメラ、スマホ、缶詰。こういう物も捨ててあるとい

うことで、こういうのはやめましょうというものでして。

最後に、もう一度まとめて、これはやめましょうということで、ちょうど5ページで、裏表で、印刷したら入るようにしております。これは当然、自治会に配るのか、各住戸に配布するのか。それから、当然、説明会も開かなきゃいけないと思っておりますので、こういうのを1つ、「ゼロ」化運動の1つとして活動したい。今度からはこれを総務会なりワーキンググループを含めて、こういうのをちょっと詰めていきたい。そして、できたら秋ぐらいにはこういうものを配って、それから皆さん方にはきちっと説明会を開いて納得していただくと。

ただし、もう少し深掘りするのは、興味がある人は来ます。興味がある人は見ます。だけど、一番問題な人は見ません。これが問題なのですね。そういう方が恐らく捨てますので、じゃあ、そういう方をどうするのかということまで含めて、これから対策しないと。ああ、パンフレットを配りました、やりました、はい、また問題起きましたで、ぐるぐる回りますので、そこは、きちっとした形をしていこうと思っております。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。これに関しまして御質問等ございますか。

これほんと、山口さんまた大変な労力だと思いますけれども、私ども利用者の会として、非常に。前回のときに、こういう案を出して、こういう当面のあれを見ていただきました。少しでもモラルが上がるようには努力しているんですけども、最後、山口さんが言われた最後のほうですね、捨てる人は全然興味も示さないと。これをいかにするかということだと思いますけれども、諦めることなく、モラルをこつこつと上げるために、するしかないなと私は思います。また、これ藪田課長のほうにも私ども完成しましたら、それプラス何か御意見ございましたら、こちらのほうまで、山口委員長のほうまで御連絡をお願いいたします。ありがとうございます。

続きまして、本日、議題の5番、その他ということで、藪田課長のほうから御説明をお願いいたします。

○市 芦屋市の藪田です。

それでは、議題の5番、その他。次第にも書いておりますけれども、報告事項ということで1点報告させていただきます。

7月18日水曜日午後1時45分からになりますけれども、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調

査特別委員会が開かれます。そこでパイプライン施設に関する調査についてということで、私ども出席して、説明をさせていただこうかなと思っております。内容につきましては、まだ余り細かいこと言えないのですが、今後、市民意見を聞いていきたいなと思っておりますので、そういうような説明をしていきたいと思っております。

またこれ、傍聴も可能ですので、御興味のある方は来ていただけたらと思います。

○傍聴者 場所は。

○市 場所は委員会ですので、本庁舎の南館の4階の委員会室になります。

1つ私のほうからお願いがあるのですが、実はこの日、ワーキンググループAというのを予定していました。2時からやったのですかね、時間。ちょうどこれ時間が重なってしまって、前回もそうやったのですが、また私が出席ができなくなるということもありまして、できれば、ワーキンググループAの日程を1週間ほど後ろへずらすことはできないかなというようお願いをさせていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。よろしいですか。

○利用者の会 実は総務会が18時から。まあダブルヘッダーでも構いません。

○市 よろしいですか。

○利用者の会 はい。

○市 すみません。そうしたら、7月18日の14時から予定しましたワーキンググループですけれども、1週間ずらして、7月25日の14時からに変更させていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

報告、以上になります。

○利用者の会 大田です。

この特別委員会の議事いうのですかね、この内容に関しては、芦屋市のホームページか何かに載りますか、中身。載らないですか。

○市 藪田です。

時期はちょっと、僕もはっきり何週間後というのはわからないのですが、当然、公開の場でやっております会議ですので、後ほど会議録というのはいっきり公開されます。

○利用者の会 ありがとうございます。詳しい内容は、私もまだでございますけど、パイプラインに関しても当然、芦屋浜と南芦屋浜、大事な社会資本だと思いますから、お話があるのかなとは思ひます。これは芦屋市のホームページのほうに、議会というこ

とで、市議会の予定というのが既に載っていきまして、この日程が既に発表されております。ということで、これは確認後ですから、公になっていますので、利用者の会の加盟の代表の方には、全部、約40名、40団体ございますけれども、連絡をさせていただきました。だから、たくさんの方が来られますことを期待はしておりますけれども。そのときはよろしく願いいたします。

続きまして、本日最終の議題ですね、6番、藪田課長のほうもいろいろお忙しいと思っておりますけど、次回の協議会のスケジュールですね、これに関しまして、今は7月ですけど、8、9とありますけれども、10月13日という、ちょっと時間があくのですけれども、ちょっと御説明をお願いします。

○市 すみません。市側の勝手な希望で、次回は10月13日でどうかなと考えているんですけども。今いろいろ立て込んであるというのもありますのと、9月議会というのがありまして、なかなかちょっとスケジュール的に厳しくて、できれば10月に入ってからさせていただきたいなと、我々のほうの勝手な希望になります。

○利用者の会 皆さんいかがでしょうか。

はい、大田さん、どうぞ。

○利用者の会 先ほども申し上げましたように、やはり芦屋市側としても、非常に忙しい日程であるというところで、先ほどのグループに関して、ほんとに今後、市と利用者の会側と話し合っていける可能性というのはどうなのかということなのですが。

○市 そのあたりも含めて、ワーキンググループは、この協議会の間に大分入れていこうとは思っているんです。ですので、ワーキンググループは細かいことをみんなで話し合いながらやって、協議会をちょっと時間あけてという形で提案させてもらっています。今、7月ですので、10月までちょっとあきますけれども、この間、ワーキンググループのほうでどんどん詰めていって、10月13日を迎えたいなというような思いです。忙しいから、協議会10月にして、この間ワーキンググループもできませんというようなことではないです。この間にワーキンググループを一生懸命やりたいなというふうに考えております。できれば、協議会は10月13日をお願いしたいなと思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。そしたら、皆さんも御都合よろしいですか。そういうことで、次回の第21回の協議会は10月13日土曜日、10時から12時の間で、場所はこちらのほうでということ決定させていただきたいと思っております。

本日は、どうも、まだ時間も。あ、どうぞ。

○利用者の会 春木です。

あと、一応10月13日で、それまではワーキングでということで、ワーキングへの議題やとかその辺やっていくということで、私個人的にはそれでいいかなと思っています。

あと、一応住民説明会も終わって、特別委員会ですか、まちづくり特別委員会に今後その結果を踏まえて御報告されると。その後の予定がどうなっているのかなというのがちょっと気になるのですが。もしわかる範囲であれば教えていただきたいというのが1つと。

それと、一応、昨年の維持管理費が決定するのが9月ということで以前に聞いていたのですが、一応この議題が終わって、2017年度の維持管理費の結果が出るのですかね。だから、そのときに、2017年度の維持管理費の内訳ですね。以前も出してもらって、提案書の中には、人件費から各種目別に、さあっと並べて、あれがたしか2015年までやったと思うのやけど、その後のところですね、一体どうなっているのか。需用費やったら消耗品と電気料金というか、そういうことで出してもらっていると思うのですが、その辺もちょっと出していただきたいなと思ってますんで、よろしく願います。それと平成28年度、2016年、それもあわせてよろしく願いたいと思います。

○市 藪田です。

今後の予定ですけども、今、住民説明会が終わって、まだちょっとその意見、たくさんいただいております意見とか質問をたくさんいただいておりまして、それずっと整理をしている最中です。ですので、それが終わりました、7月18日の芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会、ここでもまた説明させてもらおうと思っているのですが、この後、市民意見募集という形で、意見を聞こうというようなことを考えております。その後につきましては、そこでいただく御意見とかというのもまた参考にしながら考えていきますので、まずはそこまでを今ちょっと考えております。

昨年度の費用ですが、今ちょうど昨年度の決算をチェックしているところですけども、このチェック終わりました、9月議会ですね、先ほども9月には議会があるので10月にしてほしいと言ったのですが、この9月議会で決算委員会というのがございますので、そこで審査していただいて決定するという事になっておりますので、お示しできるのはその後になるのかなとは思っておりますので、またその後、お出しさせていただきますようお願いいたします。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございました。ほかになれば、本日の会議はこれにて終了させていただきます。本日はどうも、皆様、ありがとうございました。

以上